

令和7年3月12日

**（公社）全日本トラック協会青年部会による
京都府立田辺高等学校への整備実習用トラックの寄贈について**

全日本トラック協会青年部会（出島康佑部会長）は、3月12日（水）、京都府立田辺高等学校（西田和史校長）への整備実習用トラックの寄贈式を執り行った。青年部会では、平成27年度から、社会貢献活動の一環として、自動車教育課程を有する高校に対して整備実習用トラックを寄贈する取組を行っている。自動車教育課程を有する高校では、ディーゼルエンジンの構造等を学ぶためのトラックを入手するのが困難な場合が多いことから、青年部会では、全国自動車教育研究会（自動車教育課程を設置する高等学校の全国組織）と連携し、同会加盟校から寄せられた希望に応じて、青年部会員の募金を原資とする中古トラックの購入・寄贈を行っているもの。今回の京都府立田辺高等学校への寄贈は、通算16校目となった。寄贈式には、同校から西田和史校長をはじめとする先生方、生徒の皆様方にご出席いただいた。トラック協会側からは、全日本トラック協会青年部会から出島部会長・近畿ブロック代表松田慎吾副部会長をはじめとする正副部会長9名、近畿ブロック内トラック協会青年部会の代表5名が出席し、寄贈車両の提供者である有限会社タテロの建口和夫代表取締役にもご出席いただいた。式冒頭、まず出島部会長が挨拶し、「トラックやディーゼルエンジンの構造について 学んでいただくとともに、皆さんが普段使うもののほとんどがトラックによって運ばれていることにも意識を向けていただき、トラックが活躍する『物流』の世界にも興味を持っていただきたい。」とメッセージを送った。

挨拶に続き、寄贈式出席者の紹介を行った後、出島部会長から京都府立田辺高等学校自動車科2年の高丸暖時さんへレプリカキーが手渡され、「今回トラックをいただき、トラックについて多くのことを学ぶことができるようになった。本当にありがとうございました。」との謝辞が述べられた。



寄贈式の様子



挨拶する出島部会長



挨拶する西田校長



レプリカキーの贈呈



謝辞を述べる高丸生徒代表



京都府立田辺高等学校の皆様
最前列中央：出島部会長



京都府立田辺高等学校の皆様、有限会社タテロ 建口社長（車両提供者）、
全日本トラック協会青年部会正副部会長、各府県トラック協会青年部会代表



全日本トラック協会青年部会正副部会長



全日本トラック協会青年部会正副部会長、各府県トラック協会青年部会代表